



# news release

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 [URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2026年5月29日

報道関係各位

今年で3年目

## 第 68 回北大祭にて「ペットボトル資源循環リサイクル」を実施 ～「ボトル to ボトル」による PET ボトルの循環利用を推進します～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太）は、北海道大学 大学祭全学実行委員会（委員長：高田大心）と協働して、昨年 14 万人が訪れた日本最大規模の大学祭である第 68 回北大祭で排出される PET ボトルの資源循環型リサイクルを実施いたします。北大祭期間中の廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進するとともに、多くの来場者に循環リサイクルの周知の機会を創出します。

### 【ボトルtoボトル実施期間】

日時 : 2026年6月5日（金）～6月7日（日）※第68回北大祭開催期間  
場所 : 北海道大学札幌キャンパス ※回収ボックスは場内に掲示

### ■「ボトルtoボトル」水平リサイクルの流れ



本事業は、使用済み PET ボトルを新たな PET ボトルに再生する、水平リサイクル※「ボトル to ボトル」を実施するもので、第 68 回北大祭で回収した使用済み PET ボトルを、粉碎・洗浄などの各工程を経て、再原料化いたします。本事業にて再生された PET 原料は、当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の容器に使用いたします。

当社は「ボトル to ボトル」水平リサイクル事業において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたび当社と北海道大学大学祭全学実行委員会は、来場者・事業者・主催者の三者が一体となり、北海道内における PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

※使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること

私たち北海道コカ・コーラグループは、「北の大地とともに」をスローガンに、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆様とともに目指します。

<リサイクル訴求ロゴ>



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部 担当：佐々木  
お問合せフォーム：<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/form/>



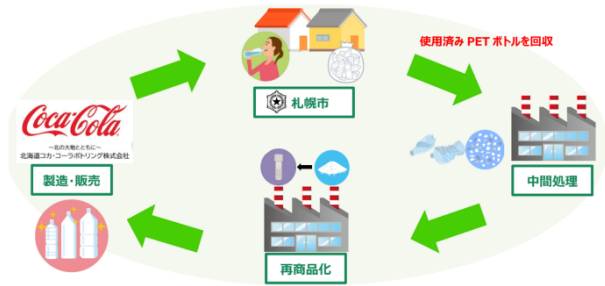
<お問合せフォーム>

## 〈参考資料〉

### ■「資源循環の推進」に関する取組み

〈本取組における実施内容〉

「ボトル to ボトル試行事業」に関する協働の取組みとして札幌市と同市の市民等が排出する PET ボトルの一部を資源循環型リサイクルとして再生利用することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、持続可能な環境・社会・経済を目指すことを目的とした取組みを2024年10月より開始いたしました。北海道コカ・コーラとしては札幌市が試行事業として実施する PET ボトルの50%を引き受け、ボトル to ボトルのリサイクル処理を実施いたします。



～以下、当社実施分の紹介～

【第一期試行事業（2024年10月～2025年9月）】

札幌市が回収した PET ボトルの一部（500トン / 1年間）を PET ボトルへのリサイクル実施。

【第二期試行事業（2025年10月～2026年9月）】

試行事業2年目も第一期同様に、PET ボトルの一部（1,000トン / 1年間）を PET ボトルにリサイクルすることについて実施し、運用面での効率化、課題解決へ向けて札幌市と連携して進めてまいります。

### ■その他の自治体とのPETボトル資源循環型リサイクル事例

当社は道内におけるPETボトルの循環利用への貢献を深めるため、2023年9月に上士幌町、2024年3月に岩見沢市、2024年11月には江別市と「ペットボトル資源循環型リサイクルに関する事業連携協定」を締結しました。自治体が回収する使用済みPETボトルを、粉碎・洗浄などの各工程を経て再原料化し、それらを当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の新たなPETボトルに再生しております。



上士幌町



岩見沢市



江別市

### ・公益財団法人アイヌ民族文化財団と「ペットボトル資源循環の協働事業」

公益財団法人アイヌ民族文化財団が管理・運営する「ウポポイ（民族共生象徴空間）」がアイヌ文化の復興・発展及び国民理解促進の拠点であり、国内外から多くの方々が集まることが期待されていることから、来場する多様な世代に対してリサイクルに対する意識を高めるとともに、「ボトルtoボトル」の促進に向けた事業として2020年9月より取り組んでいます。

同施設に、空容器回収ボックス「リバースペンディングマシン」を設置し、「ボトルtoボトル」のリサイクルを行うほか、回収した空容器1本につき1円がアイヌ民族文化財団へ寄附され、アイヌ文化の振興に役立てられています。

